

奨学金

日本学生支援機構奨学金(貸与)を受けられる制度があります。

日本学生支援機構(以下「機構」という)の奨学金は、貸与奨学金で経済的理由により修学に困難がある優れた学生等に対し貸与されます。また、卒業後返還された奨学金は、後輩の奨学金として再び活用されます。家庭の経済状況や貸与希望者の人生・生活設計に基づき、十分考慮のうえ申込みをしてください。

採用方法

奨学金の申込みは、在学する学校を通して行います。学校から推薦した申込者について機構にて選考のうえ採否が決定します。選考は人物・健康・学力・家計について基準に照らして行い、機構の予算の範囲内で採用する仕組みです。奨学金の採用方法には「予約採用」「在学採用」「緊急採用・応急採用」があります。

| | |
|-----------|--|
| 予約採用 | 入学前に奨学金を予約する制度です。進学する前年に、在学している学校(高等学校等)の奨学金窓口申し出てください。進学先が確定してなくても申込みができます。 |
| 在学採用 | 毎年春に本学で奨学金の募集を行います。奨学金を希望する人は、4月初旬(予定)に行われる新規申込説明会に参加してください。予約採用で残念ながら不採用になった方も、再度申込みできます。 |
| 緊急採用・応急採用 | 家計の急変(主たる家計支持者が失職・病気・事故・会社倒産・死別又は離別・災害等)で奨学金を緊急に必要とする場合は、本学の奨学金窓口(学生課)に相談してください。 |

奨学金の種類(私立4年制大学)

| 種別 | 貸与月額 |
|----------------|---|
| 第一種奨学金(無利子) | 自宅生…………… 30,000円・54,000円から選択 / 自宅外生…………… 30,000円・54,000円・64,000円から選択 |
| 第二種奨学金(有利子) | 30,000円・50,000円・80,000円・100,000円・120,000円から選択 |
| 入学時特別増額貸与(有利子) | 100,000円・200,000円・300,000円・400,000円・500,000円から選択 (1年次において、入学月を始期として奨学金の貸与を受ける者は、希望により、入学月の基本月額に増額して貸与を受けることができます。) |

奨学金の申込み条件

奨学金申込者の人物・健康・学力・家計について総合的に審査し、推薦基準を満たしている者の中から学校の選考委員会等で選考し、機構に推薦します。機構では審査のうえ採用を決定します。基準を満たしていても、機構の予算の関係で採用されない場合がありますので注意してください。

◎家計基準(4人世帯での目安)

| 通学形態 | 種別 | 給与所得 | 給与所得以外 | 種別 | 給与所得 | 給与所得以外 |
|------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|
| 自宅 | 第一種奨学金(無利子) | 9,550,000円 | 4,690,000円 | 第二種奨学金(有利子) | 12,070,000円 | 7,210,000円 |
| 自宅外 | | 9,980,000円 | 5,120,000円 | | 12,500,000円 | 7,640,000円 |

*給与所得者(年金受給者を含む)の場合、年収は「源泉徴収票の支払金額」になります。*給与所得者以外の場合、所得は「確定申告書の所得金額(税込)」になります。

- 【入学時特別増額貸与(有利子)】
- 1) 奨学金申請時の家計基準における認定所得金額が0円となる人。(4人世帯の給与所得者の場合で、およそ年収が4,000,000円以下程度)
 - 2) 1)以外の人で「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を利用できなかったことについて(申告)」に次の書類を添付して提出した人。
①日本政策金融公庫(以下「公庫」という)の「国の教育ローン借入申込書(お客さま控え)」のコピー ②融資できない旨を記載した公庫発行の通知文のコピー

◎学力基準(在学採用の場合)

| | | |
|-------------|--|--|
| 第一種奨学金(無利子) | 1年次 | ①高校または専修学校高等課程2・3年次の成績3.5以上 ②高等学校卒業程度認定試験合格者で左記に準ずる者 |
| | 2年次以上 | 本人の属する学部(科)の上位1/3以内 |
| 第二種奨学金(有利子) | ① 出身学校または在籍する学校における成績が平均水準以上と認められる者 ② 特定の分野で特に優れた資質能力を有すると認められる者 ③ 学修に意欲があり学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者 ④ 高等学校卒業程度認定試験合格者で、上記のいずれかに準ずると認められる者 | |

奨学金の返還について

◎第一種奨学金(無利子)による月賦返還の例 平成22年度私立大学学部入学者、貸与月数48ヵ月(貸与始期4月)の場合

| 通学形態 | 貸与月額 | 返還総額 | 返還月賦額 | 返還回数(期間) |
|--------|---------|------------|---------|-----------|
| 自宅 | 54,000円 | 2,592,000円 | 14,400円 | 180回(15年) |
| 自宅外 | 64,000円 | 3,072,000円 | 14,222円 | 216回(18年) |
| 自宅・自宅外 | 30,000円 | 1,440,000円 | 9,230円 | 156回(13年) |

◎第二種奨学金(有利子)による月賦返還の例 大学学部、貸与月数48ヵ月(貸与始期4月)、利率3.0%と仮定した場合

| 貸与月額 | 貸与総額 | 返還総額(元本+利息) | 返還月賦額 | 返還回数(期間) |
|----------|------------|-------------|---------|-----------|
| 30,000円 | 1,440,000円 | 1,761,917円 | 11,293円 | 156回(13年) |
| 50,000円 | 2,400,000円 | 3,018,568円 | 16,769円 | 180回(15年) |
| 80,000円 | 3,840,000円 | 5,167,586円 | 21,531円 | 240回(20年) |
| 100,000円 | 4,800,000円 | 6,459,510円 | 26,914円 | 240回(20年) |
| 120,000円 | 5,760,000円 | 7,751,445円 | 32,297円 | 240回(20年) |

第二種奨学金の利息と利率
 ① 在学中または返還猶予が認められている期間は、無利息です。
 ② 年3.0%を上限として定められます。

その他

- ① 予約採用者は大学進学後に「大学等奨学生採用候補者決定通知」を4月中旬までに本学学生課へ提出し、「進学届提出用ID・パスワード」を受け取ってください。その後、インターネットにより機構に「進学届」を提出してください。「進学届」のインターネット提出が無い場合は機構の奨学生として採用されません。また、採用決定時には返還誓約書の提出が必要となります。
- ② 本学入学以前に機構の奨学金の貸与を受けていた場合は、4月中旬までに本学学生課まで「在学届」を提出することにより、本学在学中は奨学金の返還が猶予されます。

◎2010年度日本学生支援機構奨学生数(名古屋外国語大学在学学生)

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 合計 |
|--------|------|------|------|------|--------|
| 第一種奨学生 | 81名 | 111名 | 83名 | 118名 | 393名 |
| 第二種奨学生 | 261名 | 283名 | 249名 | 215名 | 1,008名 |
| 合計 | 342名 | 394名 | 332名 | 333名 | 1,401名 |

■本学独自の奨学金制度があります。

名古屋外国語大学独自の奨学金制度について

| | |
|-----------------------------|---|
| 2012年度 緊急経済支援奨学金 | この制度は本学に修学する学生で、経済状況の悪化による家計の急変によって学費納付が困難な学生に対して、授業料の一部を免除し修学の継続を支援することを目的としています。免除金額は、当該学期の授業料の2分の1(約190,000円相当)を免除します。採用人数は24名(各期ごとに募集し、採用は原則年度内1回とします)。詳細は、入学後に学生課へお尋ねください。 |
| 成績優秀学生奨学金 | この制度は本学に修学する学生で、「名古屋外国語大学学生表彰規程」に基づき学業成績優秀者36名(4年生は除く)に対して、当該年度の半期授業料相当額(約380,000円相当)を給付し表彰する制度です。詳細は、入学後に学生課へお尋ねください。 |
| 課外活動・社会貢献活動等 における優秀学生奨学金 | この制度は本学に修学する学生で、「名古屋外国語大学学生表彰規程」に基づき課外活動・社会貢献活動等において著しく優秀な実績を残した学生に対し、年度ごとに実績・成績等に応じた額を給付し表彰する制度です。詳細は、入学後に学生課へお尋ねください。 |
| 国際交流奨学金 | この制度は本学に修学する学生で、留学、海外研修などの国際交流振興活動に対して助成される制度です。助成金額は留学制度ならびに期間・留学地域により異なります。詳細は、入学後に国際交流課へお尋ねください。 |